

質問 順番	議席 番号	議員氏名	質問事項及びその要旨	答弁者
1	1	大村 晃一	<p>西部地区の施設運営と管理について</p> <p>1. 西公民館と西児童センターについて</p> <p>(1) 改修工事について伺う。</p> <p>① 西公民館と西児童センターは用途が分かれて活用されてはいるが、建物の作りは増築した形で外観も内観もつながっており、児童などの利用者は行き来を行いながら利用している状況である。以前の同僚議員の質問の答弁では、西公民館側だけ改修工事を行うとの答弁があったが、理由はなぜか伺う。</p> <p>② 改修工事はどのような内容の工事を考えているのか伺う。</p> <p>③ 西児童センター側も同じくらいの築年数が経過しており、劣化している物や傷んでいる所も見受けられる。取り壊し等を行わず維持管理を続けるのであれば、いずれ修繕や改修工事が必要になる。工事内容によってはコスト削減にもなり、利用者の安全と安心へもつながることから、西児童センター側も合わせて工事を行うことが望ましいと考えるがどうか伺う。</p> <p>(2) 現在、西児童センターと敷地内にある放課後児童クラブ分室（にしっこクラブ）を行き来する通路は屋根も壁も無い状態で、雨や風が強い悪天候の日には影響をもろに受けながら子どもたちは利用している。改修工事とは別な問題として、屋根や囲いを設けるなど、子どもたちのためにきちんと整備をする必要があると考えるがどうか伺う。</p> <p>2. 西公民館改修後に利用が予定されている子育て支援センターについて</p> <p>(1) 子育て支援センターが利用できるようになる時期について伺う。</p> <p>(2) 現在運営している市内3か所の子育て支援センターはそれぞれ特色を持って運営しているが、新しくできる子育て支援センターはどのような特色を出そうと考えているのか伺う。</p> <p>(3) 利用開始前の段階から、スペースの活用方法や各部屋の利用方法などについて、子育て支援センターを利用している方や市民の声を聞きながら意</p>	市長

(続)	1	大村晃一	見を取り入れ、一緒になって作り上げていってはどうか伺う。	
			<p>放課後児童クラブについて</p> <p>1. 現在の放課後児童クラブの加入承認人数について、定員を大幅に超えた状態で加入承認をしているのはなぜか伺う。</p> <p>2. 現在の放課後児童クラブの待機児童数について</p> <p>(1) 待機児童の人数を伺う。</p> <p>(2) (1)の人数に対して、市としての考えを伺う。</p> <p>3. 来年度の放課後児童クラブの加入申込み受付が10月から始まるが、来年度も4年生以上は待機児童になる可能性があるのか伺う。</p> <p>4. 決められた定員を大幅に超えた人数を受け入れている施設もある。けがのリスクや新型コロナウイルスへの感染リスクも高くなることが考えられるので、早急な対策が必要と考えるがどうか伺う。</p>	市長 教育長
			<p>西部地区治水対策について</p> <p>1. 朝日竹の里線について</p> <p>(1) 現在、朝日竹の里線の道路工事を行っている中で、隣接される水路も合わせて埋設される形で整備を行いながら工事を進めているが、治水対策の効果はあるのか伺う。</p> <p>(2) 今後、岩沼西中学校前の信号まで、西側へ道路工事が延伸される予定となっており、合わせて隣接されている水路も埋設されると聞いている。今まで大雨の場合などに冠水していた場所も埋設をして蓋をしてしまうことになるが、新たな冠水被害などの想定はどのように考えているのか伺う。</p> <p>2. 二反田ため池の調整池工事について</p> <p>(1) 二反田ため池を調整池として活用するために、現在、水門などの工事が行われているが、工事に掛かる費用はどのくらいか伺う。</p> <p>(2) 調整池とすることで、近年の豪雨などの大雨が発生した場合などは、どの程度の治水対策の効果があると考えているのか伺う。</p> <p>3. 宮城県が今年「見える川づくり計画」を策定し、本市に関わる内容として志賀沢川が含まれている。整備目標として、五間堀川との合流点からJR東北本線横断部までとなっているが、ボトルネックの一つとなっているJR東北本線の西側までの整備の必要性を強く働きかける必要があると考えるがどうか</p>	市長

(続)	1	大村晃一	伺う。	
2	2	寒風澤敦司	<p>発熱外来と新型コロナウイルス感染症ワクチン接種について</p> <p>1. かかりつけ医がいない発熱者の外来について、岩沼市医師会、総合南東北病院、岩沼市の三者の連携により、昨年11月16日から岩沼市医師会の協力で外来診療が開始した。</p> <p>(1) 開設からこれまでの発熱外来受診者の人数について伺う。</p> <p>(2) 発熱外来の具体的な診療内容について伺う。</p> <p>(3) 診療後、結果が出るまでの所要時間について伺う。</p> <p>(4) 陽性の結果が出た場合、保健所対応となり、入院又は自宅療養となるが、自宅療養になった場合、市として独自の対応策等の考えはあるのか伺う。</p> <p>(5) 陽性の結果が出た場合、家族や関係者が濃厚接触者になると思われるが、発熱外来での検査は受けることができないものか伺う。</p> <p>(6) 発熱外来以外に、市内でPCR検査を受ける病院又は施設があるのか伺う。</p> <p>2. ワクチン集団接種会場の状況等について伺う。</p> <p>(1) 予約及び接種状況について伺う。</p> <p>(2) 平日のワクチン接種人数について伺う。</p> <p>(3) 土曜日、日曜日、夜間のワクチン接種人数について伺う。</p> <p>(4) キャンセルがあった場合の対応について伺う。</p> <p>(5) 8月に、千葉県で新型コロナウイルスに感染した妊婦の搬送先が見つからず、赤ちゃんが死亡したことを受け、本市では集団接種に加える形で、県内でもいち早く9月3日から妊婦の優先接種が始まったが、本市での妊婦の予約状況について伺う。</p> <p>(6) 接種に関する不安や相談の問合せ状況について伺う。</p> <p>(7) 受験生を対象に優先接種を行っている地域もあるが、市としての考え方について伺う。</p> <p>(8) ワクチン接種後、年齢層が下がるにつれ副反応が強く現れる方もいるようであり、様々な情報により接種を控えている方もいるようだが、市としてはどのように捉えているのか伺う。</p>	市長 教育長

(続)	2	寒風澤 敦 司	<p>(9) 若年層、特に児童・生徒への接種をどのように進めているのか伺う。</p> <p>(10) 未接種者への差別やいじめに対しての見解とその防止策について伺う。</p> <p>(11) 今後のワクチン供給の見込みと接種が完了するまでのスケジュールについて伺う。</p>	市 長 教育長
3	1 4	櫻 井 隆	<p>グリーンピア岩沼の今後について</p> <p>1. ホテル関連の事業継続について</p> <p>(1) 6月議会で同僚議員の質問に対して、第一ホテルサービス株式会社との契約終了後、引き続きホテル事業を行っていただける事業者について、可能性を探るため、まずはホテル・旅館業関連の方々等から御意見を伺うとの回答があったが、その後の状況について伺う。</p> <p>(2) 最終的に手を挙げていただける事業者がない場合は、市でどのように判断するのか伺う。</p> <p>(3) 東日本大震災時において、被災者への入浴の場を提供した経緯があり、これから様々な災害が発生する可能性を踏まえて、12月以降、入浴施設の部分を市が直接運営する計画はないのか伺う。</p> <p>(4) 亘理町の「わたり温泉鳥の海」は、仙台市の某ホテルが10年間の指定管理者として受けたと伺っている。担当者の話によると、「日帰り入浴客が年間10万人で営業は順調。天然温泉のおかげです。」とのことだった。観光振興の視点から、グリーンピア岩沼に温泉を掘ってはどうか伺う。</p> <p>(5) 公募したとしても参入する企業がない場合、建物を解体する方向なのか、また跡地利用の計画はあるのか伺う。</p> <p>2. ホテル関連の施設について</p> <p>(1) グリーンピア岩沼の施設は年金事業団で創設して以来30数年が経過している。こうした中で、建物、機械、電気設備以外の各施設（屋外スポーツ施設・ライフライン等）の現状はどのようになっているのか伺う。</p> <p>(2) プール棟の利用者から、プール槽内面の塗装が剥がれており水中ウォーキング時に滑って危険であると聞いている。本年度に修繕する計画があるか伺う。</p> <p>(3) 理想論として、施設の維持費いわゆるランニングコストは利用者の利用料金で賄うことが最善で</p>	市 長

(続)	14	櫻井 隆	<p>あるが、実際のところ大変厳しいものと考えられる。そこで、スポーツ施設の利用料金について伺います。スポーツ施設の利用料金については、市民利用者及び市外利用者の区別がされてなく同一料金となっている。市外の利用者にとっては格安料金となっているため市外利用者が多く、岩沼市の団体・個人が利用したいときになかなか利用できないと聞いている。今後において、市民利用者と市外利用者との料金差別化を行うべきと思うがどうか。</p> <p>(4) グリーンピア岩沼には駐車場が4か所ある。防犯上、一番広い第一駐車場に夜間照明及び監視カメラを増設してはどうか伺う。</p>	市長
4	15	長田 忠広	<p>福祉施策の充実について</p> <p>1. 重層的支援体制について</p> <p>(1) 「重層的支援」について、市の見解を伺う。</p> <p>(2) 重層的支援体制について、地域福祉計画との整合性について伺う。</p> <p>(3) 高齢者、障害者、生活困窮者、子ども、引きこもりなど、包括的な相談支援をどのように進めていくのか伺う。</p> <p>(4) 社会福祉協議会に所属する地域福祉の専門職であるCSW（コミュニティ・ソーシャル・ワーカー）が、生活していく上で、どこに相談すればよいか分からないなど、地域で困っている人を支援する「地域福祉推進拠点」を市内に設置してはどうか伺う。</p> <p>2. 共生社会について</p> <p>(1) 以前から提案してきた民生委員と地域福祉推進員との連携について</p> <p>① 現況を伺う。</p> <p>② 今後の方向性を伺う。</p> <p>(2) 地域で見守る体制について</p> <p>① 当市の見守り体制の考え方を伺う。</p> <p>② 「(仮称) 地域共生補助金」を創設して、モデル地域（町内会）を選定し、「(仮称) 見守り隊」を結成してはどうか伺う。</p> <p>(3) 高齢者家族の孤立防止と家族の絆の再生を目的として、三世代同居・近居住宅支援事業を創設してはどうか伺う。</p> <p>3. 福祉施設職員の人材確保について</p>	市長

<p>(続)</p>	<p>1 5</p>	<p>長 田 忠 広</p>	<p>(1) 市町村への国庫補助が大きく拡充された奨学金返還支援制度を活用して、福祉施設職員（障害・高齢）を対象とした市独自の制度を導入してはどうか伺う。</p> <p>4. 買い物弱者支援と商店街活性化を目的に、商工会などと連携した事業を立ち上げてはどうか伺う。</p>	<p>市 長</p>
			<p>防災対策について</p> <p>1. 県が行っている「水災・地震保険等トライアル補助金」について</p> <p>(1) 市民の活用状況を伺う。</p> <p>(2) 市民への周知をどのようにしているか伺う。</p> <p>2. 災害時のペット同行避難について</p> <p>(1) 市の考え方を伺う。</p> <p>(2) コロナ禍での指定避難所におけるペット避難場所の検討をどう進めていくか伺う。</p> <p>(3) 車中での同行避難希望者のための避難所を指定してはどうか伺う。</p> <p>(4) 狂犬病予防注射などの機会を活用し、災害時に飼い主が責任を持ってペットと同行避難ができるよう「日頃のしつけ」や「ペットのための災害用持ち出し品リスト」などを明記したチラシを配布してはどうか伺う。</p> <p>3. 指定避難所の環境整備について</p> <p>(1) 避難所となる小中学校の体育館等にスポットクーラーを配備してはどうか伺う。</p>	<p>市 長 教育長</p>
<p>5</p>	<p>1 7</p>	<p>佐 藤 一 郎</p>	<p>岩沼市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗について</p> <p>人口減少や少子高齢化など、構造的な課題に対し、各地域が自立的で持続的な社会を創生できるよう、国は、まち・ひと・しごと創生本部を設置した。岩沼市では、平成 27 年 10 月に第 1 期、令和 2 年 3 月に第 2 期の「岩沼市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定した。今までの実施成果と P D C A（計画・実行・評価・改善）サイクル検証委員会の検証結果を受けて、今後どのように取り組んでいくか伺う。</p> <p>1. 「安定した雇用を創出し維持する～岩沼で仕事をしよう！～」について</p> <p>(1) 仙台空港等を活かした新しい産業振興について</p> <p>① 市内の事業所数を伺う。</p> <p>② 固定資産税（償却資産）の状況を伺う。</p> <p>(2) 既存事業のさらなる発展に向けた取組について</p>	<p>市 長 教育長</p>

<p>(続)</p>	<p>17</p>	<p>佐藤 一郎</p>	<p>① 市内総生産（第1次産業を除く市内総生産額）の状況を伺う。</p> <p>② 生産年齢人口の状況を伺う。</p> <p>③ 雇用創出のため、どのような支援策を講じていくのか伺う。</p> <p>(3) 強い農業づくりについて</p> <p>① 第1次産業・農業の生産額の状況を伺う。</p> <p>② 農地集積率の状況を伺う。</p> <p>③ 農業を取り巻く今後の課題解決に向けて、農地集積の推進や法人化の促進などが考えられるが、強い農業づくりに向けて市としてどのような対策を講じるのか伺う。</p> <p>2. 「新しいひとの流れをつくる～魅力を伝えよう！岩沼で暮らそう！～」について</p> <p>(1) 市のイメージアップに向けた施策について</p> <p>① ふるさと納税の件数を伺う。</p> <p>(2) 観光振興による交流人口の拡大について</p> <p>① 県南浜街道エリアの活性化に貢献できる人材育成への取組の成果について伺う。</p> <p>② 観光客入込数の状況について伺う。</p> <p>③ コロナ禍により交流人口はどのようになったのか、また、今後の取組はどのように行うのか伺う。</p> <p>(3) 定住者確保に向けた取組の強化について</p> <p>① 住まいの情報に関するホームページアクセス件数について伺う。</p> <p>② 岩沼市は、コロナ禍での移住先として高い評価を受けているが、移住者の推移について伺う。</p> <p>③ 岩沼市への移住を支援する「移住支援金」制度があるが、活用状況と今後の取組について伺う。</p> <p>3. 「結婚・出産・子育ての希望をかなえる～岩沼で家族になろう！～」について伺う。</p> <p>(1) 出生数、婚姻数の推移について伺う。</p> <p>(2) 子ども・子育て支援の充実について</p> <p>① 子ども医療費助成は18才まで拡大した。その評価について伺う。</p> <p>② 西児童センターの今後の運営について伺う。</p> <p>(3) 学校を核とした教育機会の充実について</p> <p>① 学び支援コーディネーター等配置事業は、児童・生徒にどのように捉えられているのか伺う。</p>	<p>市長 教育長</p>
------------	-----------	--------------	--	-------------------

(続)	17	佐藤 一郎	<p>② 小・中学校のトイレ洋式化率は100%になったが、児童・生徒はどのような感想を持っているのか伺う。</p> <p>4. 「共創のまちをつくとともに、地域と地域を連携する～岩沼でつながろう!～」について</p> <p>(1) 安全安心対策の強化について</p> <p>① 災害情報伝達・収集体制整備事業について、どのような整備を行ったのか、また、成果と課題について伺う。</p> <p>② 自主防災訓練の訓練率は25%となっている。今後どのように取り組んでいくのか伺う。</p> <p>(2) 地域連携による地域力の向上について</p> <p>① 町内会・自治会等連携による防災訓練の実施率は80.3%となっている。どのような内容で実施しているのか伺う。</p>	市長 教育長
6	10	酒井 信幸	<p>ヤングケアラー問題について</p> <p>1. ヤングケアラーの実態調査について</p> <p>(1) 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社が、令和3年1月から2月にかけて全国の要保護児童対策地域協議会に対して、「要保護児童対策地域協議会におけるヤングケアラーへの対応に関するアンケート調査」を行った。岩沼市要保護児童対策地域協議会にもアンケート調査の要請はあったのか伺う。</p> <p>(2) 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社が、令和2年12月から令和3年2月にかけて、全国の公立中学校の約1割に当たる1,000校と、全国の公立高校の約1割に当たる350校を無作為に抽出して「中学校・高校における学校における対応に関するアンケート調査」を行った。市内の中学校にはアンケート調査の要請はあったのか伺う。</p> <p>(3) 市でもヤングケアラーの実態調査を行ったとしているが、調査対象者はどのように抽出したのか。また、その対象者数、調査の手法、調査内容について伺う。</p> <p>(4) ヤングケアラーについての調査で、不登校の児童・生徒も調査対象としたのか伺う。</p> <p>2. 本市のヤングケアラーの現状について</p> <p>(1) 令和3年第3回定例会の一般質問における同僚議員への答弁で、ヤングケアラーに該当する可能</p>	市長 教育長

(続)	1 0	酒 井 信 幸	<p>性のある児童生徒数は、6月現在で17名把握しているとの答弁があったが、どのような実態だったのか伺う。</p> <p>(2) ヤングケアラーに該当する可能性のある児童生徒に対しては、どのような対応を行ったのか伺う。</p> <p>(3) 前述の同僚議員への答弁で、支援の課題としてヤングケアラーの支援体制の在り方について検討するとあったが、その後どのように検討したのか伺う。</p> <p>(4) 市長は、令和3年5月20日に開催された、第1回岩沼市総合教育会議の挨拶の中で、「岩沼市においてもヤングケアラーのような子どもたちを把握し、支援していきたいと思います。今後、対策を考えていく必要があると思います。」と話されている。市長の考えを伺う。</p>	市 長 教育長
			<p>岩沼市防犯カメラ設置補助事業について</p> <p>1. 平成31年4月から岩沼市防犯カメラ設置補助事業が実施されたが、これまで何件の町内会等の団体に何台設置したのか伺う。</p> <p>2. 今年度の申請件数は何件か伺う。</p> <p>3. 防犯カメラを設置又は更新するに当たり、新設時と更新時のそれぞれの補助率について伺う。</p> <p>4. 岩沼市防犯カメラ設置補助事業が実施され3年目に入ったが、市としてこれまでに設置した防犯カメラの件数及び効果について、現状をどのように捉えているのか伺う。</p> <p>5. 岩沼市安全・安心まちづくり懇談会の中で、防犯カメラの維持管理費の補助を考えられないかとの質問があり、市からは今後検討していくとの答弁があったが、どのように検討するのか伺う。</p> <p>6. 防犯カメラが捉えた事件や事故等の映像が毎日のように報道番組等で流れている。抑止力として防犯カメラの必要性が高まっていると思うが、市長の考えを伺う。</p> <p>7. 県内外の自治体でも防犯カメラ設置補助事業を行っているが、あまり多くの事例がないように思われる。安全・安心のまちづくりの推進のためにも、防犯カメラ設置補助事業の広報活動を積極的に行うべきと思うがどうか伺う。</p>	市 長
7	1 1	須 藤 功	<p>市民バス中条バス停について</p> <p>1. 下野郷字中境にあるバス停小屋の所有権は、市に</p>	市 長

(続)	1 1	須藤 功	<p>あるのか。</p> <p>2. バス停は、道路管理者が道路占用許可を与えていると聞く。水路にある小屋に道路占用許可はあるのか。</p> <p>3. 歩道用のガードレールにもたれかかった小屋は、いつ倒壊してもおかしくない状況にある。改修又は新設はできないか。</p>	市長
			<p>浦條名取線の道路改修について</p> <p>1. 朝夕の交通量は多いが、道路幅が狭く交互通行ができない状況にある。把握していたか。</p> <p>2. 県道交差点から真っすぐに伸びるよう、利便性の良い道路に改修する考えはあるか。</p> <p>3. 将来的には名取市と協議し、道路を増幅する考えはないか。</p>	市長
			<p>朝日山公園荒井ため池の見通しについて</p> <p>1. 以前の一般質問で国に補助金を申請し、ゲートを設置する考えを聞いた。コロナ禍で国からの補助金の見通しはどうなっているのか。</p> <p>2. 国からの補助金が予定通りとなれば、ため池の水抜きや汚泥排出はいつ頃になる見通しか。</p> <p>3. 補助金を考慮せずため池の一部だけでも汚泥を浚渫し、水質浄化に努めるべきではないか。</p> <p>4. 荒井ため池の改修について、市長の見解を伺う。</p>	市長
8	7	高橋光孝	<p>これからの経済対策について</p> <p>新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、60代以上で90%、40代から50代で80%、20代から30代で75%が接種した場合には、マスク着用や3密を避けるなどの対策を取れば、緊急事態宣言を出す必要がなくなる可能性がある、政府の分科会で提言されています。本年11月には希望者全員に接種が終わるのではないかとされています。そこで、これからのウィズコロナ時代の市の経済対策について伺う。</p> <p>1. 産業振興について</p> <p>(1) 平成26年経済センサスによると、当市の産業大分類別民営事業所数は1,787事業所になっているが、それ以降から現在までの推移を伺う。</p> <p>(2) 当市の産業別割合について伺う。</p> <p>(3) コロナ禍において取扱い製品等の変更や業態を変更した企業はあるのか伺う。</p> <p>(4) 緊急事態宣言下において、協力金が出ない業種・業態で苦しんでいる企業はどれくらいあるのか</p>	市長

(続)	7	高橋光孝	<p>か伺う。</p> <p>(5) 一時的な協力金でなく、売上向上を支援する策が必要であるとするが、今後どのような施策を行っていくのか伺う。</p> <p>(6) 岩沼市商工会の会員数と会員の主な業種を伺う。</p> <p>(7) 岩沼市商工会と連携した売上向上支援策を講じてはどうか伺う。</p> <p>2. 観光振興について</p> <p>(1) 制限があるにしても規制緩和により観光が再開された場合、コロナ禍前、コロナ禍中の流れを踏まえて今後どのような観光振興策を取るのか伺う。</p> <p>(2) 岩沼市観光物産協会の会員数と会員の主な業種を伺う。</p> <p>(3) 岩沼市観光物産協会とは、どのような連携を行っているのか伺う。</p> <p>3. ふるさと納税について</p> <p>(1) ふるさと納税寄付額の推移と返礼品の品数を伺う。</p> <p>(2) ふるさと納税はどのように使われているのか伺う。</p> <p>(3) 岩沼市商工会、岩沼市観光物産協会と連携して、さらに品数を増やし、また、新たな商品開発を行うなど魅力的なラインナップにしてはどうか伺う。</p>	市長
9	3	高梨明美	<p>産後支援体制について</p> <p>1. 産後ケア事業について</p> <p>産後ケア事業は、出産後1年の母子に対して心身のケアや育児のサポート等きめ細かい支援を行う事業で、事業形態としては「ショートステイ型」「デイサービス型」「アウトリーチ型」がある。</p> <p>(1) スズキ記念病院に委託をして行っている「デイサービス型」の産後ケアについて</p> <p>① 現在は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業を中止している旨ホームページに掲載されているが、現状について伺う。</p> <p>② 実施時の利用件数と利用者の声を伺う。</p> <p>③ 今後の再開の目途は立っているのか伺う。</p> <p>④ 他市町の病院など新たな委託先の検討をしてはどうか伺う。</p>	市長

(続)	3	高 梨 明 美	<p>(2) 現在、本市が行っている「アウトリーチ型」の産婦サポート事業について</p> <p>① これまでの利用状況について伺う。</p> <p>② 周知方法について伺う。</p> <p>③ 令和元年の法改正により産後ケアの対象が産後4か月までから産後1年までに拡充された。本市が実施している産婦サポート事業については利用できる対象者の要件が、現在、おおむね産後6か月までになっているが、産後1年まで拡充すべきではないか。</p> <p>④ 多胎児家庭に対しては、利用期間の要件緩和に加え利用回数の拡充も必要ではないか。</p> <p>⑤ 「アウトリーチ型」による支援の充実を図るために、民間委託の導入を検討してはどうか伺う。</p>	市 長
			<p>市営住宅について</p> <p>1. 住民の高齢化等の対応について</p> <p>(1) 市営住宅における高齢者(65歳以上)のみの世帯の割合を伺う。</p> <p>(2) 市営住宅における高齢者見守り体制について伺う。</p> <p>(3) 入居者の体調不良等、緊急時の対応についてどのようなになっているか伺う。</p> <p>2. 市営住宅(災害公営住宅を除く)の住環境整備について</p> <p>(1) 敷地内にある大木の管理状況について</p> <p>① 現況について伺う。</p> <p>② 年次計画を立てて適切に管理してはどうか伺う。</p> <p>(2) 住民にアンケート調査を実施し、住環境整備の計画を立ててはどうか伺う。</p> <p>3. 市営住宅の空き室について</p> <p>(1) 現状を伺う。</p> <p>(2) 修繕の予算を確保するなど、随時入居できる体制を整えてはどうか伺う。</p>	市 長
10	5	佐 藤 剛 太	<p>市内小中学校の新型コロナウイルス感染症対策及びICT教育について</p> <p>1. 市内小中学校の児童生徒の感染状況について</p> <p>(1) これまでの感染者数を伺う。</p> <p>(2) 感染者が出た場合は、どのような対応を行ったのか伺う。</p>	市 長 教 育 長

<p>(続)</p>	<p>5</p>	<p>佐藤 剛太</p>	<p>2. 市内小中学校の児童生徒への感染予防対策について</p> <p>(1) 現在、児童生徒への感染予防対策は、どのようなことを行っているのか伺う。</p> <p>(2) 感染予防のために各学校に非接触型サーモグラフィカメラ等の導入が必要だと考えるが、見解を伺う。</p> <p>(3) 今後、感染が拡大した場合は、学びの継続のためにどのような取組を行うのか伺う。</p> <p>3. ICTの活用による学習指導について</p> <p>(1) 昨年度からICTを活用して、人々と様々な課題を解決する能力の素地を養う学校の実現を目指して開始された「まなびiスクール構想」について伺う。</p> <p>① 開始から半年が経過するが、これまで児童生徒に対して行ってきたことについて伺う。</p> <p>② 児童・生徒への効果や変化について伺う。</p> <p>③ これまで起きたトラブルや不具合を伺う。</p> <p>(2) 臨時休業になった場合、本市では学びを止めないために遠隔やオンライン学習を行うことができるのか伺う。</p> <p>① 普通学級について伺う。</p> <p>② 特別支援学級について伺う。</p> <p>③ いわぬま子どもの心のケアハウス（愛称：あいる一む）について伺う。</p> <p>(3) 教員の負担について</p> <p>① 校内で使用するICT機器が増えたことで、機器の設置や操作の習得、ICTを活用した授業の改善などの業務が教職員に対して負担になっていないか伺う。</p> <p>② 今後、ICT教育の活用を進めて、さらに教員の負担の軽減を行うためにスキルの高いICT支援員を導入すべきではないか伺う。</p> <p>4. 児童生徒の心のケアについて</p> <p>(1) コロナ禍の中で心のケアが必要な児童生徒は増加しているのか伺う。</p> <p>5. 教職員の感染症対策及びメンタル対策について</p> <p>(1) これまでの感染者数を伺う。</p> <p>(2) 本市の小中学校に勤務する教職員のワクチン接種率を伺う。</p> <p>(3) 感染予防対策として、勤務する教職員が休暇を</p>	<p>市長 教育長</p>
------------	----------	--------------	--	-------------------

(続)	5	佐藤 剛太	<p>取りやすい職場環境の整備が必要だと考えるが、市の取組を伺う。</p> <p>(4) 学校を取り巻く課題が複雑化、多様化する教育環境に加えて、感染症対策などを行って精神的な緊張や心身の負担が増加する中での勤務状況について</p> <p>① 精神的な緊張や心身の負担を抱える教職員はいないのか伺う。</p> <p>② 教員の負担軽減を行うことが、本市の教育の質を向上させるために必要ではないかと考えるが、市長の見解を伺う。</p> <p>③ 教員の業務である成績処理、通知表、指導要録、名簿管理など校務のICT化を進めて、教員業務の見直しと業務改善の推進を行うべきではないか。</p> <p>6. 小中学校で感染防止対策として、様々な学校行事等が中止になっていることについて</p> <p>(1) 9月下旬に開催を予定している中総体新人戦について伺う。</p> <p>(2) コロナ禍の中ではあるが、台風などの自然災害がいつ起きるかわからない中での備えとして、感染予防対策を行いながら防災訓練や引渡し訓練を行うべきではないか。</p> <p>(3) 児童生徒の自主学習及び家庭学習の習慣を形成するための支援を行い、学習の基本の定着と児童生徒全体の底上げを図ることができる学習支援事業「岩沼学び塾」を今後、オンラインにより行うことが必要ではないか伺う。</p> <p>(4) 様々な学校行事や、保護者が参加できなくなった会合等は、ICTを活用することで、学校と家庭がつながっていくことができるのではないか。</p> <p>(5) 8月27日に教育委員会は、令和4年3月31日までの宿泊を伴う学校行事を中止することに決定したが、今後の感染状況等を踏まえて、感染症対策の確実な実施や保護者などの理解・協力を前提に、中止の見直しや代替事業の開催を行うべきではないか。</p>	市長 教育長
11	4	田村 宏	<p><u>矢野目臨空工業団地内の軽油流出事故について</u></p> <p>1. 流出した燃料タンクの容量はいくらか。</p> <p>2. 同上の流出処理費用はいくらか。</p> <p>3. 弁護士費用はいくらか。</p>	市長

(続)	4	田村 宏	<p>4. 市側の担当弁護士名は誰か。</p> <p>5. 天候は、どういう状況だったか。</p> <p>6. 場所は、どういう所で油がどこに流出したのか。</p> <p>7. 業者へ作業指示を依頼したのは誰か。裁判では、井口元市長が業者を紹介したと聞くが、本当か。</p> <p>8. 除去方法の詳細な内容は誰が確認したのか。</p> <p>9. 常識では考えられない巨費を投じた井口元市長の責任について、市長はどう考えているのか。</p>	市長
1 2	6	菊地 忍	<p><u>ごみ屋敷問題について</u></p> <p>全国各地で近年問題となっているごみ屋敷問題は、高齢者の独居問題なども相まって、今後の日本社会においてますます増え続けることが予想されています。これ以上ごみ屋敷を増やさないために、市としてどのような対策を取っていくのか伺う。</p> <p>1. ごみ屋敷に関する苦情の内容と件数を伺う。</p> <p>2. ごみ屋敷について、市ではどのような対応を取っているのか伺う。</p> <p>3. 市で対応し、解決した案件についてその内容と件数を伺う。また、解決しないケースの原因・問題点を伺う。</p> <p>4. ごみ屋敷問題における課題と、今後の取組を伺う。</p> <p>5. ごみ屋敷に住む人への指導・勧告を行い、指導等に従わなかった場合における氏名の公表や改善命令及び行政代執行等に係る手続を定めたごみ屋敷条例を制定してはどうか伺う。</p>	市長
			<p><u>職員採用状況について</u></p> <p>地方行政の抱える課題が多様で複雑なものになりつつある昨今、岩沼市においても職員に対する期待はますます高まるばかりです。</p> <p>そうした流れの中で期待に応えられる人材を確保するための採用活動においても、民間と同様に非常に苦戦を強いられている時代になっています。多様化した時代の中で公務員になりたいという若者もかなり減ってきており、市役所として求める人材ニーズとのマッチングも厳しい状況となっているのではないかと考える。</p> <p>これらの時代背景を考え、本市の採用状況について質問します。</p> <p>1. 令和4年(2022年)度の採用状況について伺う。</p> <p>(1) 採用予定人数について伺う。</p> <p>(2) 社会人採用と新卒採用の割合を伺う。</p>	市長

(続)	6	菊地忍	<p>(3) 辞退者数の傾向と現段階の辞退の状況を伺う。</p> <p>(4) 内定辞退に対して何らかの対策を取っているのか伺う。</p> <p>2. 採用に当たっての手法を伺う。</p> <p>(1) 採用申込みに当たってどのような受付体制を取っているのか伺う。</p> <p>(2) 専用サイトを設けているのか伺う。</p> <p>(3) 岩沼市でもインターンシップの受入れを検討してはどうか伺う。</p> <p>(4) オンライン面接を導入するなど、オンライン採用手法を取り入れてはどうか伺う。</p> <p>3. 採用に当たって岩沼市の採用コンセプトを伺う。</p> <p>4. 令和5年(2023年)度に向け、どのような方針を立てているのか伺う。</p> <p>5. 通年採用について見解を伺う。</p>	市長
13	12	渡辺ふさ子	<p><u>生理の貧困について</u></p> <p>1. 女性は生涯で平均して35年～40年、生理と共に過ごす期間があると言われている。女性の生理は人類が子孫を残すための必要不可欠な生理現象にもかかわらず、残念なことに日本の社会では「恥ずかしいこと」という誤った認識が定着している。女性自身、また男性に対しても女性の生理への認識をオープンにし、ジェンダー平等を達成するためにも女性の生理現象における、あらゆる負担を、みんなで共有、理解しあい、共に考えることが大切だと考える。女性の生理のあるべき姿について、市長及び教育長の見解を伺う。</p> <p>2. 貧困や家庭問題などの相談窓口での生理用品の無償配布チラシの配布数及び保健センターでの生理用品の支給数を伺う。</p> <p>3. 生理用品の無償配布チラシについて、市のホームページへの掲載や各相談窓口で配布し、困っている方へ広く周知すべきではないか。</p> <p>4. 小さなSOSを見逃さないために、生理用品と一緒に各種相談窓口のリーフレットなどを配布し、必要な支援につなげてはどうか。</p> <p>5. 学校の保健室での生理用品の利用状況を伺う。</p> <p>6. 6月議会で、学校のトイレに生理用品の配備を求めた同僚議員の質問に対し、衛生管理上の不安があるとの答弁があったが、他自治体では洗面スペースにプラスチックケースに入れての設置や個室内に巾</p>	市長 教育長

<p>(続)</p>	<p>1 2</p>	<p>渡 辺 ふさ子</p>	<p>着袋に入れてフックに吊り下げるなどしている。管理の問題は工夫でクリアできるのではないかな。</p> <p>7. いたずらへの不安があるとの答弁もあったが、教育現場での指導、生徒への性教育と理解によって解決することが本来の在り方であり、優先すべきは子どもの気持ちに沿った対応ではないかな。</p> <p>8. 今年4月14日に文科省から「提供場所を保健室のほかに設けたりするなど、必要とする児童・生徒が安心して入手できるよう、提供方法や設置場所等の工夫などを御検討いただきたい」との事務連絡が発出されている。健康を守り教育機会を保障するためにもトイレに設置すべきではないかな。</p> <p>9. 市庁舎など公共施設にも生理用品の配置は必要と思うがどうか。</p>	<p>市 長 教育長</p>
<p>新型コロナ対策について</p>			<p>1. コロナ感染は半数が無症状感染者からであり、無症状感染者の発見と保護が感染対策に欠かせない。政府として感染震源地を明確にし、そこに検査能力を集中的に投入して、防疫を目的として大規模で網羅的な検査を行うことが必要と考える。見解を伺う。</p> <p>2. 介護施設、福祉施設、保育園・幼稚園、学校など、集団感染によるリスクが高い施設に勤務する職員に定期的なPCR検査を行うべきではないかな。</p> <p>3. 学校での感染対策について</p> <p>(1) 教職員・子どもに定期的な、自宅で行える迅速抗原検査を行ってはどうか。</p> <p>(2) 感染者が出た場合、濃厚接触者の範囲を狭くせず、実態に応じ学級・学年・全体など広めのPCR検査を行政検査として行うべきではないかな。</p> <p>(3) 教室で教職員も生徒もウレタンでなく不織布のマスクをつけることが重視されている。教職員や必要とする児童・生徒に不織布マスクを支給してはどうか。</p> <p>(4) 短時間で空気を入れ替える常時喚起（4か所開けなど）が必要と考えるが、換気についての実情を伺う。</p> <p>(5) 学童保育が三密とならないよう、学校などより広い場所を保障するなど柔軟な対応を考えてはどうか。</p> <p>(6) 部活動の状況を伺う。</p> <p>(7) 新型コロナウイルスと感染の仕組みを学び、受</p>	<p>市 長 教育長</p>

(続)	1 2	渡 辺 ふさ子	け身でなく自分の頭で考え納得して行動変容し、「部活動もこれなら可能では」といった自分たちの学校生活の前向きな話し合いを行うことこそ、この時期に欠かせない学びと考えるがどうか。	市 長 教育長
1 4	8	佐 藤 淳 一	<u>介護保険事業について</u> 1. 介護保険事業費と保険料について (1) 介護保険事業費について伺う。 (2) 介護保険料について伺う。 2. 介護保険事業の課題と対応策について (1) 医療と介護の連携について伺う。 (2) 認知症への対応について伺う。 (3) 施設整備について伺う。 (4) 介護予防への取組について伺う。 (5) 介護保険事業費の増大と介護サービスの効率化について伺う。	市 長
			<u>企業誘致と工業団地の整備について</u> 1. 企業立地の現状について (1) 岩沼市内の企業立地の現状（用地、企業数、税収等）について ① 臨空工業団地、矢野目西地区について伺う。 ② 宮城県のフロンティアパークとその他市内の大規模工場や工業団地について伺う。 (2) 岩沼市へ新たに進出を希望する企業、あるいは既存立地企業で工場等の増設を検討している企業など、用地の需要（意欲）について伺う。 (3) 市内の大規模工場や工業団地等の要望や課題について、どのようなものがあり、どのように対応しているのか伺う。 2. 企業誘致への取組について (1) 比較的大きな用地を必要とする企業が進出を希望する場合、用地の確保は現状でどの程度可能なのか伺う。 (2) 企業の人的資源の確保について、どのようにサポートしていくのか伺う。 (3) 岩沼市への企業の立地を進めて新たな税収を確保していくためには、他自治体との競争を勝ち抜くための様々な環境整備が必要であると考え。今後の企業誘致への取組について伺う。	市 長
1 5	9	布 田 恵 美	<u>市制施行 50 周年記念事業について</u> 1. 今年、当市は市制施行 50 周年という節目を迎えている。	市 長 教育長

<p>(続)</p>	<p>9</p>	<p>布田 恵美</p>	<p>人間で言うならば、50歳という年齢であり、充実した生活環境に新しさを追い求めることと同時に、安全に安心して暮らせるようなしつらえも求める時期であろうかと思える。コロナ禍が続く中、基本方針に沿って計画が進む周年記念事業の進捗と共に日々の市民生活の中における暮らしやすさなどを伺う。</p> <p>(1) 過去に周年記念事業で中止となった事業はあるのか。</p> <p>(2) 今後予定されている事業とその対策について伺う。</p> <p>(3) 記念として将来に語り継がれるような、形が残るモニュメント設置の計画はないのか。</p> <p>(4) 当市の玄関口でもあるJR岩沼駅前広場に時計を設置してはどうか。</p> <p>(5) 当市は地の利も良く、公共施設にも恵まれており、市外から多数の方が訪問されているが、よく「公共施設の入口の案内が見えにくく分かりにくい」という声が聞かれる。そのような声は届いていないか。</p> <p>(6) 公共施設の看板デザインや視認性の検討を行ってはどうか。</p>	<p>市長 教育長</p>
<p>さらなる地域防災力の向上について</p>			<p>市長</p>	
<p>1. これまでも地域防災力の向上について取り上げてきた。</p> <p>今年に入ってから各地で土砂災害、風水害の被害で尊い人命が失われている報道に接する度に心が痛む。</p> <p>昨今、気候変動の影響もあって大きな災害が頻発しており、何よりも的確な情報を得て、自らを守り、大切な人を守ることが優先されるべきことである。</p> <p>日頃から地域や職場においても防災意識を高め、訓練を通じて学習を繰り返すことが大切な備えでもある。</p> <p>市内においてもコロナ禍の中で昨年、今年と個人や家庭向けの緊急情報の受信状況や避難行動確認、市全体では避難所開設訓練を実施したところである。</p> <p>(1) 市が行ってきた3か年の防災士養成講座により、142名の新たな防災士が誕生しており、その後は受講希望者へ費用助成を行う形になったと聞い</p>			<p>市長</p>	

(続)	9	布田恵美	<p>ている。</p> <p>① 制度活用により、新たな資格取得者は何名誕生しているのか。</p> <p>② 助成制度を知らない市民もおられるようだが、新たな防災士養成についてどのように考えて周知しているのか。</p> <p>(2) これまでに繰り返し提案してきたことに、(仮称)岩沼防災士会設立がある。これまで防災士が一堂に会しての意見交換会や研修の場もあり、アンケート調査なども実施している。以前の提案の折には「組織化については、防災士の皆さんの機運が高まってきたら、市としても支援していく」との答弁だった。アンケート調査では、どのような意向が示されているのか。</p> <p>(3) 先の7月4日の避難所設営訓練の折には、災害時の避難所対応に関する協力についての意向調査もあった。市が助成しての防災士や個人で取得した防災士が約300名市内に居住しており、その人材を是非に生かしてネットワークを構築して地域防災力の向上につなげていくべきではないか。</p>	市長
-----	---	------	--	----